

## 中国圏広域地方計画に対する意見募集の結果について

戦略目標等	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
地域の多様性を活かした交流・連携	1	中国圏内の都市部では、広島市内にある路面電車やその近辺にのびる電鉄の整備、岡山市の路面電車の環状化、既存のJR支線、沿線私鉄などのLRT化への支援などをもっと構想していくべきである。	ご意見の趣旨については、第2章第1節1. (4)及び第2節2. (3)において、鉄道の利便性の向上等による公共交通ネットワークの高度化、LRTの導入等による快適な都市内交通環境の整備について記述するとともに、第3章8. 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域プロジェクト、12. 分散型地域構造の核となる都市整備プロジェクトにおいて、「公共交通システムの高度化の推進」について記述しています。
地域の多様性を活かした交流・連携	2	空港施設の整備、地域間のバイパスとしての高規格道路の整備等についても、その需要動向等に関し具体的な根拠を示し、それに、交通量の増大による大気汚染物質及び温室効果ガスの排出量の増加予測なども加えて、客観的に必要性やその影響を検証することが必要である。	ご意見の趣旨については、最新のデータを基にした交通等需要推計を行っています。また、環境への影響については、その結果をもとに環境影響評価法に基づき評価を実施しています。
地域の多様性を活かした交流・連携	3	情報通信ネットワークの強化として、防災・医療・教育等の多様な分野において、情報通信技術を活用したアプリケーション・コンテンツとこれらの利用環境の整備は重要ですが、医療機関等の利用者側からすると、ネットワークの単なる相互接続・解放だけでは使い勝手が悪いという課題があります。そこで、利用者の施設までの環境の整備、機材等資金面の支援等のもう一歩踏み込んだ具体策を検討いただきたいと思います。	ご意見の趣旨については、第3章4. 基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクトにおいて「暮らしの多様化に対応する情報通信ネットワークの整備」について記述しています。なお、個別具体的な取組については、代表的なものを記述しています。
産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦	4	「大水深国際バルクターミナルの拠点整備を行う」とあるが、現在東アジアにおける海上物流の拠点は、韓国の釜山港や中国の上海港などに移っており、今後日本国内、特に瀬戸内海における海上交通需要増大の可能性がはたしてどれだけあるのか、示していただきたい。	海上物流の拠点の必要性については、第1章の中国圏の現状と課題及びポテンシャルにおいて記述しています。なお、個別の事業については、最新のデータ等を用いて厳格な評価を行い、必要と認められるものについて実施するものとしています。
産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦	5	第2章第2節3. の(1)農林水産業の再生について、「農林水産業の再生」という表現は、農林水産業の現状を一括りに極めてネガティブに捉えている印象を与えかねないと考えます。上述の状況も踏まえ、「農林水産業の振興」もしくは「農林水産業の展開」と修正すべきです。また、第3章「5. 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト」を「5. 里地・里山・里海における農林水産業活性化プロジェクト」と修正し、両本文中の「農林水産業の持続的発展のため」を「農林水産業の持続的発展と食料自給力向上のため」と修正。	ご意見の趣旨については、農林水産業の域内総生産と同全国シェアが低下している現状等を踏まえつつ、農林水産業の持続的発展を図る趣旨を記述するため、原案のとおりとしています。なお、食料自給力については、第2章第2節3. (1)農林水産業の再生の記述を次のとおり修正しました。「また、農業においては、農地整備と利用集積を一体的に講じるとともに、林業における施業の集約化、路網整備や高性能機械の導入、水産業における漁場整備や漁港機能の強化等、農林水産業の生産・流通基盤の整備を図ることにより生産性及び食料自給力等の向上を図る。」

戦略目標等	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦	6	第2章第2節3. (1) 農林水産業の再生の「また、地域の農林水産業と製造業・商業・サービス業を一体的に支援することにより、商店街の空き店舗等を活用した農林水産物直売所の設置や、近隣都市に出向いた朝市の開催、地域の小売店や飲食店への流通促進等、地産地消を促進し、地域の食文化の醸成とこれに伴うブランドの形成を図る…」を「また、地産地消の普及啓発と地域の農林水産業と製造業・商業・サービス業を一体的に支援することにより、商店街の空き店舗等を活用した農林水産物直売所の設置や、近隣都市に出向いた朝市の開催、地域の小売店や飲食店への流通促進、農村部における食料販売拠点としての農産物直売所の整備等、多様な活動に応じた柔軟な支援を行い地産地消を促進する。これによって、地域の食文化の醸成とこれに伴うブランドの形成を図る…」と修正。	ご意見の趣旨については、農林水産業再生のための取組として、地産地消の促進について記述しています。また、個別具体的な取組については、代表的なものを記述しています。
産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦	7	鉄鋼スラグ等については、それが環境に与える影響については、その無害性が十分に立証されているのか。また、その中に違う産業廃棄物が混入される可能性もあり、その監視の責任はどのように担保されるのか。	ご意見の趣旨を踏まえ、第2章第2節4. (1) 基幹産業の省エネルギー化等による競争力の強化及び第3章8. 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域プロジェクトの記述を次のとおり修正しました。 「また、基礎素材産業から発生する鉄鋼スラグや石灰灰等の産業副産物について、自然環境等に配慮しながら、赤潮や水質汚濁対策として窪地修復や覆砂材に利用するなど、資源の有効活用の促進を図る。」
産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦	8	世界的な潮流となっている自然再生エネルギーへの大胆な転換などの構想がなく、全体的に地球温暖化問題に象徴される地球規模での環境問題についての配慮が欠けている。特に太陽光発電は、電力会社を買取を義務化するなど、政策として積極的に導入を促進していくべき。	ご意見の趣旨については、第2章第2節4. (2) 地球温暖化等対策に資する地域産業の振興や、第3節2. (5) 地球温暖化対策等環境に配慮した都市づくりの推進、第4節 将来像において横断的に持つべき視点において記述するとともに、第3章8 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクトにおいて、自然エネルギー利用の推進について記述しています。
多様で豊かな生活を楽しめる	9	第2章第3節の1. および第3章の「7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト」において、「エネルギー（燃料）供給」について、生活サービスやライフラインの一つとしてとりあげる。	ご意見の趣旨を踏まえ、第2章第3節1. (1) 「中山間地域や島しょ部における一次生活拠点の確立と多様なサービス提供」の記述を次のとおり修正しました。 「地域住民の福祉の向上や地域産業の振興による働く場の創出、食料や生活雑貨、燃料供給等の生活サービス機能の維持を通じて生活環境の確保を図ることなど、過疎対策の一層の充実を進める。」
多様で豊かな生活を楽しめる	10	第2章第4節「将来像において横断的に持つべき視点」にある「まず、地域の人材は～位置づける。」の文章の後ろに、以下の文章を追加する。 「人材の育成・確保に際しては、中国圏の特徴である都市と中山間地域との連携の容易さ等を背景にした「暮らしやすさ」を実感できる環境の提供と「郷土愛」の醸成、これらを土台としたコミュニティの再組織化等による「新たな公」の活躍の場の創出が重要である。」	ご意見の趣旨を踏まえ、第2章第4節「将来像において横断的に持つべき視点」における人材の記述を次のとおり修正しました。 「…多様な人材の育成・確保を3つの将来像に共通するソフトインフラとして位置づける。その際、中国圏の特徴である都市と中山間地域との地理的近接性等を背景にした暮らしやすさを実感できる環境の提供と郷土愛の醸成、これらを土台としたコミュニティの再組織化等による「新たな公」の活躍の場の創出が重要である。」

戦略目標等	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
第3章将来像実現に向けたプロジェクト	11	<p>第3章に掲げられた7つの「視点」の第2（中山間地域等の振興）、第3（環境と産業・生活が調和した地域づくり）、第6（美しく安全安心な圏域づくり）に関わるプロジェクトとして、「地産地消プロジェクト」を提案します。具体的な取り組み内容は、以下のようなものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域資源を活かした農林水産品・加工品、エネルギー（太陽光・小水力・バイオマス）を地産地消することにより、ライフラインを確保し地域経済を支える。</li> <li>◇地域内での需要に対応した生産の体系づくり</li> <li>◇「地もの」に対する愛着心を育て、地域を支える人材を確保する</li> <li>◇新エネルギー利用の促進により低炭素型社会・循環型社会づくりを目指す</li> </ul>	<p>地産地消に関する事項については、関係する様々な分野での必要性を明らかにするため、複数のプロジェクトにおいてその趣旨を記述しています。</p>
第3章将来像実現に向けたプロジェクト	12	<p>中山間地域等の地域資源の有効活用や農林水産業振興を通じた暮らしやすい地域の再生を実現するために、これらの受け皿となる地域コミュニティの再生をめざしたプロジェクトを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第3章に「・中山間地域等コミュニティ再生プロジェクト」を追加する。</li> <li>○第3章7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクトの「集落コミュニティの強化・再構築による共助の仕組みづくり」の項目内容を削除する。</li> </ul>	<p>地域コミュニティに関する事項については、関係する様々な分野での必要性を明らかにするため、複数のプロジェクトにおいてその趣旨を記述しています。</p>
ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化プロジェクト	13	<p>「産業集積の形成や基盤技術の強化に資する戦略的な企業誘致を図るため」、また企業のニーズに「対応」した「産業団地や殿ダム等の工業用水の安定供給に資する多目的ダムの整備を推進する」ものとしているが、現在では多くの工業団地が売れ残り、工業用水も余っているところが多いのに、なぜ今更これらの整備を進めようとするのか。その根拠と考えられる効果を具体的な数値で示すとともに、本当にそれらが求められているのか、客観的な分析・判断が必要である。</p>	<p>個別の事業については、最新のデータ等を用いて厳格な評価を行い、必要と認められるものについて実施するものとしています。</p>
ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化プロジェクト	14	<p>産業廃棄物をはじめとした、廃棄物の発生を抑える政策をこそ推進すべきであるが、本計画においては、そういった記述はなく、あくまでも産業発展優先で、廃棄物の大量発生を容認している。</p>	<p>ご意見の趣旨については、第3章1. ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化プロジェクトにおいて、「原料の有効活用、中間品・副生物や電気・蒸気等のエネルギーの相互融通」について記述しているほか、8. 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクトにおいて、「基礎素材産業集積地をリサイクル拠点として活用」「産業副産物の有効活用」「市民・事業者・行政が一体となってごみの発生抑制やリサイクルを進める」ことなどを記述しています。</p>
基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト	15	<p>山陰自動車道や中国横断自動車道姫路鳥取線の早期整備を望みます。阪神大震災の時には、神戸を避けて九州へ抜けるトラックの多くが国道9号を使っていたりと、山陰や九州へのメリットも大きいはずですが。国はことを認識し、責任を持って仕事をすべきです。地方分権も良いが、地域が発展するためにも、まずは同じ土俵にたてる基盤の整備を強く望みます。</p>	<p>ご意見の趣旨については、第1章1. (4) 「基幹的な交通機能の整備」において基本的な考え方を示した上、第3章4. 「基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト」において、中国横断自動車道(姫路鳥取線、尾道松江線)、山陰自動車道等の必要な整備について記述しています。</p>

戦略目標等	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト	16	<p>第2章第2節3. (1) 農林水産業の再生の「また、農業においては、農地整備と利用集積を一体的に講じるとともに、林業における施業の集約化、…農林水産業の生産・流通基盤の整備を図ることにより生産性等の向上を図る。」を「また、農業においては、農地整備と利用集積を一体的に講じるとともに、新需要米（米粉、飼料用米）、麦、大豆などを地域条件にあわせて生産・利用の拡大を図り、林業における施業の集約化、…農林水産業の生産・流通基盤の整備を図ることにより生産性等の向上と食料自給力の向上を図る。」と修正。</p> <p>また、第3章5. 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクトの「生産性向上に資する生産基盤の整備と経営高度化」を「自給力と生産性向上に資する生産基盤の整備と経営高度化」と修正し、あわせて本文中の「あわせて、展望ある水田農業の確立を図りつつ、安定した農業経営の実現に向けて、より付加価値の高い園芸や畜産等を取り入れる等…」を「あわせて、食料自給力向上と展望ある水田農業の確立を図りつつ、安定した農業経営の実現に向けて、より付加価値の高い園芸や畜産等を取り入れる、新需要米（米粉、飼料用米）、麦、大豆などを地域条件にあわせて生産・利用の拡大する等…」と修正。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、第2章第2節3. (1) 農林水産業の再生の記述を次のとおり修正しました。</p> <p>「また、農業においては、農地整備と利用集積を一体的に講じるとともに、林業における施業の集約化、路網整備や高性能機械の導入、水産業における漁場整備や漁港機能の強化等、農林水産業の生産・流通基盤の整備を図ることにより生産性及び食料自給力等の向上を図る。」</p> <p>また、第3章5. 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクトの具体的な取組内容のタイトルを次のとおり修正しました。</p> <p>「生産性及び食料自給力の向上に資する生産基盤の整備と経営高度化」</p>
里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト	17	<p>各地にある農業主産地・特産地の育成発展のための環境整備、環境・エネルギー問題にも対応し自給率の向上に向けた地産地消策（消費者の需要を的確に把握した）の推進が必要であると考えられる。これらの視点から、本計画中に述べられている、就業希望者に対する支援といった担い手育成の促進や、減反政策・輸入依存の農業政策及び林業・漁業政策の見直しを行うべきである。</p>	<p>ご意見の趣旨については、第3章5. 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクトにおいて、新たな担い手確保のための情報提供・研修などによる担い手の育成・確保について記述しております。</p> <p>なお、減反政策の見直し等については、全国的な課題として別途検討されるべきものと考え、原案のとおりとしています。</p>
地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト	18	<p>第3章の「6. 地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト」において、地域資源の一つとしてバイオマスを取りあげ、製品原料やエネルギーとしての適正な利用と関連産業との結びつきについても盛り込む。</p>	<p>ご意見の趣旨については、第3章6. 「地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト」において、木質資源等の地域資源を活用した事業化の取組支援を記載しているほか、5. 「里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト」において、バイオマスタウンや資源作物、8. 「中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト」において、木質バイオマスによる発電等のバイオマスの有効活用の推進など、各プロジェクトで記述しています。</p>
中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト	19	<p>中山間地域では仕事もなく後継者不足が深刻である。人がどんどん減っていき集落維持も限界である。しかし住んでいる高齢者は慣れ親しんだ生活環境を変えたくなく一生をそこで終えたいと思っている。そのような意思を尊重するような行政の支援を望む。</p>	<p>ご意見の趣旨については、第2章第3節1. 中山間地域等と都市地域との交流・連携等による生活サービス機能の確保、第3章7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクトにおいて記述しています。</p>
中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト	20	<p>利用者のための公共交通を（「暮らしやすさ」の観点から）：第2章3節1. および第3章の「7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト」において、「地域の実情・ニーズに応じた整備」のみでなく、公共交通をより使いやすいものにするため、公共交通再整備の計画段階への利用者の参加を促し、地域公共交通会議の利用など、利用者の意見が反映される仕組みを積極的に活用することを盛り込む。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、第3章7. 「中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト」の記述を次のとおり修正しました。</p> <p>「地域住民の移動手段の確保に向けて、地域公共交通の計画の作成に当たり利用者の参加を促し、コミュニティバスや乗合タクシーの導入・再編、離島航路の維持等、地域のニーズに応じた公共交通の活性化・再生の取組を促進する。」</p>

戦略目標等	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト	21	単機能から複合機能を持った交通システムに（「暮らしにくさ」を解消するために）：第3章の「7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト」において、中山間地・島嶼部での生活交通を維持・確保するため、例えば、診療所が運営するバスや教育委員会が運営するスクールバスを一般住民も利用可能なバスのシステムに再編するなど、複数の機能を持つ交通システムに変更する。	ご意見の趣旨については、第3章7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクトにおいて、複数の機能を持つ交通システムも含め、「地域のニーズに応じた公共交通の活性化・再生の取組を促進」すると記述しています。
中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト	22	地域を支える高次な生活支援機能の整備、医療・福祉ネットワークの充実において、地方整備局と地方厚生局との連携が不可欠であると考えます。両局の横断的な取組みに際しては、地方整備局と地方厚生局との役割分担を明確にしつつ、地域医療に資する施策を具体化することが重要と考えます。少子高齢化社会の進展、社会保障費の増大の中、「健康増進」「予防」のための施策が重要となっています。地域の自立的な発展の基礎として、医療体制の確保だけでなく、健康増進・予防のために資する施策も盛り込んでいただきたいと思います。	ご意見の趣旨については、第5章1. (1) 一体的な推進体制において、「国、県、市町村、経済界等の多様な主体が、十分に連携・協働を図りつつ、計画が描く将来像の実現に向けた各種施策の展開・具体化を推進する」旨記述しています。また、「健康増進」「予防」に資する取組については、第3章7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクトにおいて、「診療所や保健福祉センター等の生活サービス機能や行政機能を一体化集約化する」旨記述しています。
中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト	23	広域的医療体制の構築、県境・ブロックを越えた広域連携による緊急医療は記載の通り重要と考えます。これに加え、広域地方計画の策定を機に、「ブロック単位」での医療提供体制の整備も1つのテーマとして検討していただきたいと思います。	ご意見の趣旨については、第2章第3節1. (2) において「広域医療体制の構築を図る」、また(3) において「中枢・中核都市等においては、より高度な医療を総合的に提供する」旨記述しています。
中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト	24	過疎地では、財政悪化等を理由に公共インフラが削減されており、医療や防災対策といった生活基盤の崩壊が進行している。むしろ、高規格幹線道路の整備よりも、公共交通としての過疎バスやデマンドバスへの支援といった、住民の足の確保策が必要である。	ご意見の趣旨については、第3章7. 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクトにおいて、「地域住民の移動手段の確保に向けて、コミュニティバスや乗合タクシーの導入・再編、離島航路の維持等、地域のニーズに応じた公共交通の活性化・再生の取組を促進」について記述しています。
多様な主体の連携による計画の推進	25	真に多様な主体の連携と地域の資源を活かした計画の推進を図るならば、協議会へのNPO・NGO団体、及び公募市民の参加を盛り込むなど、市民が地方行政・経済界とパートナーシップを組むことにより、中央の行政・経済界と対等の立場で意見を言える体制をつくるべきである。	ご意見の趣旨については、第5章1. (4) 多様な主体の連携による計画の促進に記載しているとおり、住民・NPO・企業等の多様な主体の参加の促進を図る旨記述しています。
その他	26	本計画に対する意見募集期間は、平成21年6月11日～7月10日までの30日間となっている。しかし、本計画は非常に幅広い分野に亘っており、さらに今後10年間の方針を検討する指標となるものであることを考えると、この期間にすべてを読みこなして、意見書を提出するというのは、一般市民にとっては、非常に難しいと言わざるを得ない。	今回の意見募集は、計画原案として取りまとめたものを公開し意見を求めたものですが、これまでも、中国圏広域地方計画ホームページを平成18年度に立ち上げ、検討状況を公開しています。